

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名：和束町

を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。	
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	茶源郷まつりも、お茶の京都博の市町村イベントとして位置づけ、宣伝量が増加したことにより過去最高の11,000人の来場者数を記録するなど観光入込客数と観光消費額の増加に貢献した
	府と市町村等との連携に資する成果	お茶の京都ターゲットイヤーとして、京都府及び和束町を含めた山城12市町村が連携し、様々なイベントを実施した。次年度以降もイベント等で連携を続けていくことが期待される
	住民の自治意識を高める成果	
	リーディング・モデル成果	
	広域的波及成果	お茶の京都イベントに足を運んだ観光客が、地元の飲食店を訪れるなどイベントの集客が呼び水となり町内での消費が拡大された
	行財政改革に資する成果	
	その他の成果	

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。